

# 桜 歯 ニュース

2019. 4. 15  
VOL.202



日本大学歯学部ホームページ： <http://www.dent.nihon-u.ac.jp/>



## 新入生の入学を心から歓迎します

日本大学歯学部 学部長 本田 和也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが歯科医師を目指して、全国29歯科大学（歯学部）から日本大学歯学部を選択し、難関を突破して入学された事を心から歓迎します。歯学部は日本大学にある16学部の一つとして学祖山田頭義伯爵が提唱した「自主創造」を掲げています。自主創造とは、自ら考え、自ら学び、自ら新しい道を切りひらいていくという意味です。また、歯学部の教育理念は、歯学部の前身となる東洋歯科医学校を創設した佐藤運雄博士が唱えた「医歯一元論」を掲げています。医歯一元論とは、医学的歯学の専門知識をもった人間性豊かな歯科医師を目指すという意味です。つまり、学生諸君は単に歯科技術を身につけるために学ぶのではなく医学的基礎、すなわち歯学を口腔や歯だけにとどめず、全身と関連させて統合的に学ぶべきであるということであり、この建学の趣旨は歯学部の教育方針にしっかりと根付いています。皆さんは、これらの教育理念に基づいて常に高い志を持ち、何事にも自ら積極的に取り組む姿勢を示し、基礎医学の知識と問題解決能力を十分に備えた歯科医師を目指してください。歯学部は「学生と向き合う」教育カリキュラムを編成しています。また、文武両道の視点からクラブ活動への参加も推奨しています。クラスやクラブ活動を通して、互いに切磋琢磨し多くの友人をつくり、充実した学生生活を過ごしてください。

(教授 歯科放射線学講座)

# 新入生の皆さんへ

## 自ら発信しよう



学務担当 鈴木 直人

ご入学おめでとうございます。これからの6年間で新しい学問に触れ、一生の友人達と出会い、課外活動では普段のカリキュラムでは味わえない経験をするでしょう。日本大学の教育理念「自主創造」は「自ら学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」の3つの要素から成り立っています。

歯科医師に求められる知識や技能を身に付けるには、受け身ではなく「自ら学ぶ」貪欲な姿勢が必要です。そこから「自ら考え」、「自ら道をひらく」ことに繋がります。さらにもう一つ加えるとすれば、自分の考えを「自ら発信する」習慣を意識すれば学んだことの習熟になります。皆さんが充実した6年間を送られることを願います。  
(教授 生化学講座)

## 学生生活を楽しむために



学生担当 宮崎 真至

大学生としての生活が始まり、喜びとともに期待に溢れる日々を過ごしているものと思います。本学部において、大いに学び、多くの人と触れ合い、そして心身ともに格段の成長を遂げるであろう6年間のスタートです。もちろん、大学ですから勉強は大切

ですが、そのなかで多くの人との交流をする時間を作ることを期待しています。そのことによって、これまで自分が知らなかった世界が開かれ、知的好奇心が刺激され、そして歯科医師として持つべき倫理観が熟成されるはず。そして、多くの人との交わりの中から、他人の心を慮るということの意味を理解し、豊かな人間性を備えた歯科医師となるはず。もちろん、時には悩み、つらい思いをすることもあるかもしれません。これに関しては、いろいろな形で相談ができるようなシステムが構築されています。これからの学生生活を、充実したものとなるように、教職員はじめとして本学部にかかわっている全員が皆さんを支援します。  
(教授 歯科保存学第I講座)

## professionalism as a doctor

日本大学歯学部同窓会会長 小幡 純



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。立派な歯科医師になるという希望をもって入学したことでしょう。

現在では質の高い医療を提供しなければなりません。そのために確固たる知識と技量を取得する事が

必要です。日本大学は総合大学です。他の歯科大学と異なり各学部との連携をとりながら様々な分野で知識を得ることも可能です。恵まれた環境での知識の習得をしてください。

皆さんは入学時から同窓会の準会員になります。同窓会は100年近い歴史を持ち、約9000人の会員が日本歯科医師会を始め全国で活躍し、また地域医療にも多大なる貢献をしています。そして同窓会は会員を生涯バックアップしていきます。

新入生の皆さん!卒業までの6年間の教育で好奇心をもってprofessionalism as a doctorを養ってください。

## 自由になるための勉強

後援会会長 横江 順



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでの皆さんのご努力に敬意を表すとともに、皆さんを支えていらしたご家族や関係者の皆さまにお祝い申し上げます。大学の教育とは知識の蓄積と理解度だけを

向上させるものではなく、既存の知識や技術を用いて、いかに新しい発想や発見が生み出されるかを問うものです。その創造の精神を教職員と学生が一体となって高めるところにこそ、新しい価値が生まれます。すべての学生が同じ目標に向かって能力を高めても革新には結び付きません。正しく、賢い選択をするためには、情報を正しく読み、他者の知識や経験を総動員して自己決定する意思を強く持つことが必要です。大学キャンパス以外にもこうした対話と実践の場を多く設け、「自分が歯科医師になる道を選んだ」と言う、自己決定に対する責任を持ち、強い忍耐力で賢く心豊かな歯科医師になってください。

## 新入生の皆さんへ

学生会会長 市川 理沙



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今までとは全く違った新しい環境で、まだまだ慣れないこともたくさんあると思います。しかし、同級生や先生方とともに歯科医師という大きな一つの目標に向かって

頑張っていくことは一生忘れられない大切な思い出となります。楽しいことや苦しいこと、乗り越えなくてはならないこともたくさんあります。それらを仲間とともに経験し積み重ね、将来自分がどのような歯科医師になりたいのかを6年間かけて模索しながら、これからの学生生活を楽しんでください。学生会として皆さんの学生生活がより良いものになるようにバックアップしていきますので宜しくお願いします。(第6学年)

## クラブ協議会から

クラブ協議会会長 稲永 翔伍



新しい年度に入り、数多くの新入生が入学して来ました。本学部には多くのクラブがあります。今までやって来た事を続けるもよし、これから新しいことを始めるのもよいでしょう。各クラブは様々な企画を新入生に向けて用意していることと思いま

す。是非、たくさんの選択肢の中から自分のやりたいことを見つけてください。また、クラブに入部することで横の繋がりだけではなく縦の繋がりもできます。皆さんが入って良かったと思えるようなクラブに入部してほしいと思います。近年、国家試験の難易度も上がっていることもあり、クラブ活動に時間を割くことが難しくなってきました。しかし、そこで過ごす時間は将来の財産になり、自身を成長させるものだと思います。本学部の素晴らしい校風である「文武両道」を実現するために、クラブ協議会からも出来る限りのバックアップをしていきたいと思っています。(第5学年)

## 事務局の紹介

**【教務課】** 入学時の学生証の発行から歯科医師国家試験受験に関する手続きまで、授業や試験などの勉学に関する事務手続きを扱っています。勉学上必要な事項は『学部要覧』や『授業計画(シラバス)』に記載してありますので、これらによく目を通してください。また、授業や試験に関する連絡は掲示やNu Mailをもって行います。そのため、常に掲示板等を確認する習慣を身につけてください。

**【学生課】** 快適で充実した学生生活を送るために様々な支援を行っています。窓口では通学証明書及び学割の発行、忌引きや病気などによる欠席届や住所変更届などの諸届けの扱い、各種奨学金の手続きなどを行っています。また、クラス懇親会に対する助成手続、学生会やクラブ活動に関する相談や助言なども行っています。さらに、球技大会、桜歯祭、NU祭、日本大学体育大会、全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの学生行事にも携わっています。

**【学生支援室】** 皆さんが学生生活を過ごしていく上での様々な問題について、学生の立場に立って相談に応じています。「こんなことを相談するのは恥ずかしい」などと気がねせず、気軽に訪問してください。6年間の学生生活では、辛いこと、困ったこと、誰かに話を聞いて欲しいこと、様々なことがあると思います。他人にとっては些細に思えることでも、本人にとっては、とても大事なこともあります。相談員は、インテーカーの資格のある教員(月曜日昼休み)に加え、日本大学本部学生支援センターより、臨床心理士が配置されています(火～金曜日)。守秘義務のある専門家が、皆さんの立場になって話を聞きますのでプライバシーは厳守されます。他者に話をすることで、気持ちが整理されたり、新たな視点に気付くことがあるかもしれません。学生生活に何らかの困難を感じた時、選択肢の一つとしてください。

**【保健室】** 体調不良やケガの対応、また日頃の健康管理についても支援しています。大学生になり、独り暮らしをする学生も多いと思います。無病、快眠、食欲などは健康のバロメーターです。日常の健康管理の悩み、心配事など独りで悩まずに、気軽に相談してください。学校医への相談も可能です。保健室では、原則として投薬はできません。頭痛持ちや胃腸の弱い方などは、日頃使用している薬を携帯し自己管理をお願いします。

**【図書館】** 学習や臨床、研究に必要な図書や雑誌を取り揃え、貸出・返却の手続き、他機関からの資料の取り寄せ、調べ方の案内などを行います。図書館ホームページから各種検索データベースを利用して、幅広く学術情報を収集することができます。貸出状況・貸出履歴確認、購入リクエスト、メール質問などのオンラインサービスも利用できます。分からないことは図書館員に気軽にお尋ねください。



第一学年

主任	山岡大	教授	基礎自然科学
担任	佐藤紀子	准教授	健康科学
担任	尾崎愛美	助教	衛生学
担任	岩田潤	助教	臨床医学
担任	渡辺孝康	助教	基礎自然科学

**山岡主任：**これから歯科医師として長い人生の基盤をつくるための6年間が始まります。この6年間は皆さんが難関を乗り越えて手にした大切な期間です。充実した実りある6年間にするには、目標に向かって己を律して目標を達成できる精神力が必要です。その精神力の維持のために、我々担任一同はチームで皆さんを支えていきます。



**佐藤担任：**ようこそ日本大学歯学部へ！いろいろな人と接してみよう！本をたくさん読んでみよう！新しい言語に挑戦してみよう！苦手だと思っていた教科をじっくり勉強してみよう！困っている人がいたら声をかけてみよう！挑戦しよう！たくさんの「できる」を体験しよう！



**尾崎担任：**ご入学おめでとうございます。6年間は長いようであつという間です。勉学はもちろんのこと、クラブ活動や学内行事などに励み、有意義に過ごして欲しいと思います。担任として、皆さんが実り多き学生生活を送れるようサポートしていきます。



**岩田担任：**ご入学おめでとうございます。6年という年月をかけて専門的な知識や技術を身

につけ、歯科医師となることに期待や不安もあることでしょう。日々の努力を惜しまず、新しいことに挑戦し、一日一日を有意義に過ごしてください。充実した学生生活を送れるようサポートしたいと思います。



**渡辺担任：**ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活には不安もあると思いますが、学修のみならず課外活動や人脈形成など在校中に経験することは、今後の人生におけるかけがえのない財産となります。皆さんが充実した学生生活を送れるようサポートします。



第二学年

主任	本吉満	教授	歯科矯正学
担任	田邊奈津子	准教授	生化学
担任	白玉博司	助教	口腔外科学

**本吉主任：**いよいよ第2学年となり、歯科医学の専門的な教科を多く学ぶようになります。勉強は大変になりますが、歯科医師になるための必須科目でもありますので、やりがいも出てくるでしょう。勉強のことや学生生活のことで悩み事があれば我々担任に気軽に声を掛けてください。この1年、君たちと共に歩んでいきたいと考えています。

**田邊担任：**本年度第2学年の担任としてみなさんをサポートしていきたいと思っています。何か困ったことがあったら気軽に相談してください。担任として2年生の皆さんに、“よく学びよく遊ぶ”充実した1年にして欲しいと願っています。1年間よろしくお願い致します。

**白玉担任：**ご進級おめでとうございます。大学生活には慣れてきましたか？第2学年では歯科医学の基礎となる講義や実習が始まり、課題を通じて自分なりの学修方法を身に付けてゆく時期です。皆さんが良き1年を過ごせるよう、今年度もサポートしていきます。

第三学年

主任	今井健一	教授	細菌学
担任	山崎洋介	准教授	解剖学Ⅱ
担任	佐藤恵	准教授	基礎自然科学

**今井主任：**保存や補綴など臨床系科目の授業と実習が始まり、歯学部生ということをより実感すると思います。一方で歯科医師になるという目標がある分、視野は狭くなりがちです。勉学は勿論ですが、目標を立て自ら考え学び、

それを達成することによりこれまで見えなかった景色がきっと広がります。短い大学生活の中の貴重な1年。夢を抱き目標に向かって努力する時間を作ってみてください。

**山崎担任：**歯学部3年生として新たな学びのステージに立った若き諸君に、会津八一の「学規」の言葉を送ります。「ふかくこの生を愛すべし／かえりみて、己を知るべし／学芸を以って性を養うべし／日々新面目あるべし」

**佐藤担任：**第3学年に進級し、いよいよ口腔科学・臨床分野の授業が始まります。「豊かな教養と寛容な人間性」を持つ医療人には豊かさをもたらす多様性の許容が欠かせません。様々な経験と体験を得ながら目標に向かってください。みなさんのチャレンジを応援します。

#### 第四学年

主任	米山隆之	教授	歯科理工学
担任	澤田久仁彦	専任講師	歯科放射線学
担任	関野麗子	助教	歯科麻酔学

**米山主任：**今年度から皆さんの学年を担当することになりました。第4学年では引き続き臨床系の講義や実習が幅広く進められ、歯科医師としての基礎知識と技術を固める年になります。年度末には臨床実習の資格を得るための共用試験であるCBTとOSCEが待っていますので、気を緩めることなく意欲的に課題に取り組み、充実した1年を送りましょう。

**澤田担任：**ご進級おめでとうございます。4学年となり、すべての歯科臨床分野の講義と実習を学ぶ学年になります。またCBTやOSCEを受験する学年でもあります。しっかり計画を立て充実した1年を過ごしてください。

**関野担任：**新第4学年の皆さん進級おめでとうございます。4年生までに、歯科医学の知識を一通り学び終えます。来年から始まる院内実習で、患者さんに自信を持って接することができるよう中堅学年らしい学生生活を送ってください。心身ともに充実した1年になることを期待しています。

#### 第五学年

主任	米原啓之	教授	臨床医学
担任	津田啓方	准教授	生化学
担任	中井久美子	助教	衛生学

**米原主任：**臨床実習が始まり、今まで講義や実習で学修してきた内容を実際の臨床において体験します。これは歯学部に入學してスタートした歯科医師への道のりがOSCEおよびCBTの2つの共用試験を経てStudent Doctorとして認定されたことにより、次の段階へ進んだことを意味します。皆さんの歯科医師を目指すこの1年が充実した期間になるように応援します。

**津田担任：**本年度は、自分が歯科医師になるということを実感できる貴重な学年になります。それを実感しながら、頭と体フル回転で臨床実習に向き合ってください。また、現場では「人の心」にも関心を向けてみてください。将来、キット役に立つと思いますよ。

**中井担任：**5年生は国家試験のための重要な準備期間となります。臨床実習では、戸惑う事も多いと思いますが、4年間で学んできた講義や実習の知識を活かして乗り越えていきましょう。大変だと思いますが、この1年間の経験は今後必ず役に立つはずですよ。

#### 第六学年

主任	浅野正岳	教授	病理学
担任	藤田智史	准教授	薬理学
担任	池田貴之	専任講師	歯科補綴学Ⅰ
担任	古地美佳	専任講師	総合歯科学
担任	武井浩樹	助教	小児歯科学

**浅野主任：**ついに最終学年となりました。今年は歯科学統合演習を通じて、国家試験に向けて万全の備えをする年です。歯科医師を目指して本学に進学した当時のことを思い出してください。人生の最重要課題の完結はもうすぐそこに迫っています。目標達成に向けて焦らずコツコツと努力し、自身を奮い立たせてください。君ならできる！

**藤田担任：**国家試験合格を目指す学年となりました。限られた時間の中で、正しい知識を効率よく吸収してもらうことが必要となります。わからないことがあれば是非、教員に気軽に質問をして下さい。最後の学生生活をこちら全力でサポートしていきたいと思えます。

**池田担任：**昨年に引き続き6年生の担任を受け持つこととなりました。昨年の経験をいかし皆さんのサポートが出来ればと考えております。最終学年である6年生は、国家試験合格を目指すとともに6年間に及ぶ大学生生活も最後となります。毎日を無駄にせず、充実した日々を過ごすようにしてください。

**古地担任：**1年間ですがよろしくお願ひします。普段多くの研修歯科医と接する中で、卒業までに一生懸命勉強して、考える力を養うことが歯科医師としてのスムーズなスタートに役立つことを実感しています。1年後の自分を想像しながら勉強してください。

**武井担任：**昨年に続き第6学年クラス担任を務めさせていただきます。いよいよ国家試験を受験する学年となります。合格への近道はなく、大事なものは日々の勉強になります。皆さんが来春を歯科医師として迎えられるようにサポート致しますので一緒に頑張りましょう。



## 109名に学士(歯学)の学位記を伝達 ～学部長賞などの各賞を21名に授与～



3月25日、本学部本館創設百周年記念講堂において、歯学部卒業式並びに学位記伝達式が行われました。来賓や教職員、父母が参列する中で本田歯学部長から学位記が伝達され、併せて学長賞、優等賞、学部長賞が授与されました。また、小幡同窓会会長より歯学部同窓会会長賞が授与されました。同日、大学院歯学研究科修了者30名にも本学部大会議室にて、博士(歯学)の学位記が伝達されました。



### 学長賞 氷見健太さんに学長賞

日本大学は各学部において、在学中の学業成績が最も優れていた者に学長賞を授与しています。本年度の受賞の栄誉に輝いたのは氷見健太さんでした。

**氷見健太**：この度は栄誉ある学長賞にお選びいただき、誠にありがとうございます。これも6年間ご指導ご鞭撻賜りました先生方のお陰と存じ、深く感謝申し上げます。振り返ると、この6年間は沢山の思い出があります。勉学と部活動に全力で打ち込み、志を共にする仲間と楽しい時間を過ごす、最高の学生生活でした。今後もこの賞に恥じぬよう、歯科医師として社会に貢献できるよう精進して参ります。



**若松賢吾**：この度は栄誉ある優等賞にお選び頂き、大変光栄に思うのと同時に大変嬉しく思います。

このような栄誉を頂けたのは決して自分だけの力ではなく、6年間に渡りご指導頂いた先生方をはじめとする、多くの方の支えがあったからだ実感しており、深く感謝しております。今後とも驕ることなく、この賞に恥じないように多くの先生方のご指導を頂きながら研鑽を積んで参りたいと思います。



### 学部長賞を12名が受賞

優等賞に準じた功績を修めた者に授与される部科校長賞には、学業部門、学術・文化部門、体育部門、善行部門、その他があります。本年度は、学業部門：小野敏英、川野晃誠、佐々木愛、長妻彩、宮崎樹梨、体育部門・その他：絹原有理、その他：小野敏英、小澤祥子、瀬下花菜恵、遠山由理香、中野寛、宮崎樹梨のみなさんが受賞されました。



### 優等賞 30年度卒業生2名に優等賞

学業成績が学長賞に準ずる者に授与されるのが優等賞です。本年度は富田有輝さん、若松賢吾さんの2名が受賞されました。

**富田有輝**：この度はこの様な素晴らしい賞を頂き、大変光栄に思います。先生方を始め、友人、家族、様々な方に支えて頂き、充実した6年間の中で私自身大きく成長させて頂きました。ご指導ご鞭撻を賜りました先生方に深く御礼申し上げます。今後はより一層研鑽を積み、多くの方に少しでも恩返しできるよう日々精進して参る所存でございます。この度は誠にありがとうございました。



### 歯学部同窓会会長賞を6名が受賞

人物優秀で、学業・体育などの部門で優秀な成績を修め本学部の名誉を高揚した者、ならびに学生生活活動の推進に著しく貢献し、本学部の発展に功績が認められた者に授与される同窓会会長賞を、石持凱士、北原諄子、北村英彦、君山葵、齋藤瑞花、渡辺琢郎のみなさんが受賞されました。





小野敏英



川野晃誠



佐々木愛



長妻彩



宮崎樹梨



絹原有理



小澤祥子



瀬下花菜恵



遠山由理香



中野寛



石持凱士



北原諄子



北村英彦



君山葵



齋藤瑞花



渡辺琢郎

## 『続けることの大切さ』

平成30年度卒業生代表 氷見 健太

沢山の方に支えられ6年という時間を経て、今卒業を迎えることが出来ました。入学して早々、年々難化する国家試験の現状について先生方から突き付けられ、不安に思っていたことが今では懐かしく感じられます。先生や事務の方々のサポートにより十二分に学修する機会が確保され、学年が上がるにつれ自分の知識量が確実に増えていることが実感できました。学生生活では、クラブの主将に加え、6年次には国家試験対策委員長を務めさせていただきました。部活動も6年間続けさせていただき、それに伴い勉学にも全力で打ち込むことができました。どちらも“続ける”ことができたからこそ、実りあ

る学生生活を送ることができたと思っています。今後も、本学の“文武両道”の精神を大切にし、“続ける”ことの大切さを後輩たちに引き継いでいけたらと思います。



## 第1回 日本大学 リサーチャー・アワードを 受賞して

新井 嘉則

1990年当時、微細で複雑な構造を持つ歯及び顎骨を3次的に診断することは“絶対に不可能”といわれていました。

この夢のX線撮影装置（歯科用コーンビームCT）を本学が世界に先駆けて開発に成功し、臨床研究を開始したのは1997年のことでありました。その後、この技術は本学からモリタ製作所に技術移転され、広く臨床応用されるようになりました。

この功績により2003年に科学技術政策担当大臣賞を受賞しました。また、海外にも本技術はライセンスされ、安定したランニング収入は歯学部運営にも寄与することとなりました。2017年にはラオス・サイエンス大学に本装置が設置され、その技術支援を行い国際貢献も果たすことができました。

今回、これらの業績が認められ、栄えある第1回目の日本大学リサーチャー・アワード（社会連携部門）をいただくことができました。これも学部全体の温かいご支援の賜物と、この紙面をお借りして関係各位に深く御礼申し上げます。

（教授 歯科放射線学講座）



## 新病院長としての抱負

飯沼 利光



4月1日より宮崎病院長からバトンを譲り受け、日本大学歯学部附属歯科病院長となりました飯沼利光（歯科補綴学第I講座）です。学生の皆さん、御父母の皆様どうぞよろしくお願いたします。皆様もご承知のように日本大学

歯学部は、平成28年に創設100周年を迎え、現在その記念事業の一つとして、新校舎ならびに新病院の建設を行っており、すでに昨年10月1日から新病院での診療が開始されています。この最新設備を整えた新病院で、さらなる100年に向け私たち教職員や病院スタッフに課せられた大きな使命は二つあります。まずは、患者さんに最高水準の歯科医療を提供すること。もう一つは歯学部附属の教育病院として、診療技術や知識だけでなく、倫理観にあふれた優れた医療人を育成することです。機器や設備がいくら最新であっても、より良い医療あるいは充実した医学教育の提供には結び付きません。そこで学ぶ学生、あるいは教える立場にある教員の人間力こそ重要となるからです。その実現のため私たちは、今以上に人と人とのつながりを大切にして行かなくてはと思っています。さらに、私たちの病院を受診されるすべての患者さんから、今以上に安心・信頼を得られる病院となるよう、皆でこの思いを共有し、力を合わせ努力して行くことが大切だと考えています。そこで私は、「Creating Satisfaction！」を合言葉に、患者、学生、御父母、教職員と本病院にかかわるすべての人たちが満足感を得ることができる環境づくりに取り組んでまいります。さらに、現在Ⅱ期工事が進んでおり、2021年10月には歯学部新校舎が竣工する予定です。ここでは学生教育の充実に加え、研究面においても共用ラボが設けられ、病院での診療科の枠を越え新しいアイデアに満ちあふれた研究が行われると期待しています。このように日本の歯科界を牽引し、お口の健康を通して国民の健康増進に貢献する私たち日本大学歯学部附属歯科病院の姿勢にはこれからも揺るぎはありません。

（教授 歯科補綴学第I講座）





## 平成30年度 第2回FD講習会

FD委員会副委員長 今村 佳樹

平成30年11月29日に平成30年度の第2回FD講習会が日本大学歯学部創設百周年記念講堂で開催された。今回は、日本大学医学部のFD活動を長く牽引してこられた、医学教育企画推進室の藤田之彦教授に「日本大学医学部における教育の変遷」と題してお話いただいた。藤田先生が携われてきた数多くのFD活動のなかでも、特に共用試験と多職種連携教育（IPE）に焦点を絞ってお話し願った。医学部では、歯学部を先行して共用試験の取り組みが始まったが、その歴史は、模擬患者の育成の試行錯誤でもあった。模擬患者の導入に当たっては、患者団体に協力をお願いしたこともあった。しかし、より質の高い教育を求めた結果、芸術学部の協力のもとに、授業の一環として、芸術学部学生が共用試験（OSCE）に模擬患者として参加するシステムを実現できた。この他学部と協同してOSCEを運営するメリットは、日本大学ならではのことであり、その後、歯学部も芸術学部と協力のもとにOSCEを実施するに至った。歯学部でも導入が見込まれている臨床実習後OSCEでは、芸術学部の学生たちの演技力がことさら有用となるであろう。講演の後半は、多職種連携教育（IPE）についての内容で、医学部学生と薬学部学生の間で行われているIPEについてお話いただいた。今後は、医学部、歯学部にとどまらず、理工学部等も含めたIPEの必要性を示していただいた。このように考えると、藤田先生が開拓されたことは、医学部と芸術学部とを結び、また歯学部、薬学部とを結び、まさにチーム教育を実践してこられたわけである。講演を聴講した聴衆の多くがアンケートで大変勉強になったと答えていたのも理解できる内容であった。（教授 口腔診断学講座）



## 全学FDワークショップ 2018

角田 麻里子

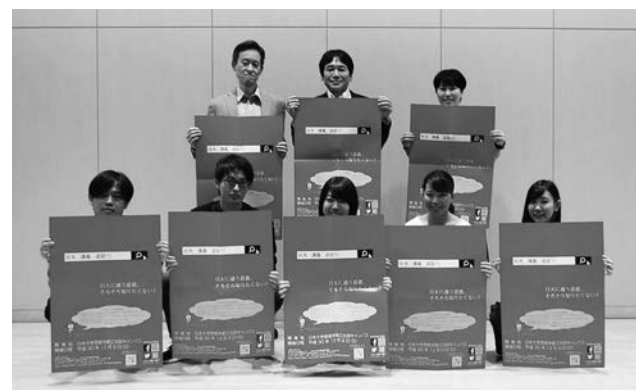
昨年の9月3日、4日に渡り、日本大学会館で開催されました全学FDワークショップに参加させて頂きました。テーマとして「大学教育における課題の解決に向けて—教育の能力の開発（Faculty development）を企画・運営できる人材の育成—」が掲げられ、各部科校の教育に携わる教職員が一堂に会して開催されました。多数の学部を抱える本学であるからこそその様々な意見が飛び交い、活気ある会となりました。（助教 病理学講座）



## 日本大学 学生FD CHAmmit2018に参加して

丸山 佳人

昨年12月に開催された「日本大学学生FD CHAmmit2018」に参加しました。これは「学生が変える日本大学」をコンセプトとした教育改善を目指すイベントで、様々な役職の方が関わっていました。学生だけでなく他学部の先生方や職員の方々とグループワークを行いました。私のグループには文筆家でもある芸術学部の先生がおられ、授業の話だけではなく、趣味や昔の話も伺うことができました。歯科医学分野以外の方の話はどれも新鮮で、貴重な体験が出来ました。（第2学年）



## 平成31年度歯学部予算の概要

経理長 宮崎 啓一

平成31年度歯学部予算が、3月開催の理事会で承認されました。予算計上した特徴的な事業計画及び収支状況は以下のとおりです。

### 1 予算計上した特徴的な事業計画

臨床実習アドバンスの導入（5年次教科「臨床実習」を踏まえて「臨床実習アドバンス」を6年次に開講する）	《継続事業》
歯学部同窓会奨学基金の充実（平成34年度の目標額を1億円とする）	《継続事業》
SPDシステムの導入（歯科材料等の在庫管理の効率化を図る）	《新規事業》
新校舎新築工事（歯学部創設100周年記念事業第Ⅱ期工事）	《継続事業》

### 2 歯学部総合予算（事業活動）の収支状況

平成31年度 歯学部総合予算	
事業活動収入合計	68億6,200万円
事業活動支出合計	72億2,700万円
基本金組入額合計	△5,200万円
当年度収支差額	△3億7,000万円

前年度予算と比較すると、収入の部では、歯科病院の完成により患者数の増加が見込まれるものの、退学者の増加による学生生徒等納付金の減収などから、事業活動収入が5,300万円の減収になりました。一方、支出の部では、第Ⅰ期工事の完了に伴う施設設備の処分が終了したことなどにより、事業活動支出が4億1,800万円の減額となり、収支は3億6,600万円改善しました。また、基本金組入前当年度収支差額は、3億6,500万円の支出超過、基本金組入後（将来の資産取得額控除後）は、3億7,000万円の支出超過となりました。

平成31年度は第Ⅱ期新校舎新築工事が引き続き行われ、建物解体撤去費等を計上しています。また、昨年度本部から借入れた財政調整積立金の返済がはじまり、31年度から10年で返済する予定です。これらのことから第Ⅱ期工事が完了するまで厳しい財政状態が続きますので、医療収入の増額を図るとともに、予算の執行に当たっては、効率的・効果的に対応するようお願いいたします。

※基本金組入額 学校法人が必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組み入れた金額。



## 「フランス人は10着しか服を持たない

パリで学んだ

“暮らしの質”を高める秘訣]

ジェニファー・L・スコット

齋藤 幸枝

この本は、アメリカ人留学生のジェニファーが、フランス人貴族の末裔であるマダム・シックの家にホームステイをし、マダムやパリの人々から学んだ「暮らしの質」を高める秘訣を当時のエピソードを交えながら紹介している。



フランス語の「シック」という言葉は、日本では「上品で洗練された」という意味で使われているが、ジェニファーがパリでの暮らしで学んだ価値観を一言で表す言葉が「シック」だ。この本を読むと、シックというのは人や物の外見だけでなく、ライフスタイルや生き方、暮らし方、心の持ち方までも表す言葉なのだと分かってくる。

パリのシックな女性たちは自分をよく知っていて、装いにも食事にもインテリアにもこだわりを持っている。大事なことにはお金をかけるが、無駄を嫌い、見栄を張らない。本当に気に入ったものだけを長く使う。その家を取り仕切るマダム・シックから学んだのは、間食はせず食事を存分に楽しむこと、上質なものを少しだけ持ち大切に使うこと、日常の中にささやかな喜びを見つけ、お金をかけずに生活を心から楽しむ方法など、毎日を「特別の日」のように生きることだ。

私たちはストレスの多い忙しい毎日を送っている。買い物や旅行での楽しい時間は束の間で、すぐにまた日常に戻らなければならない。だからこそ生活をシンプルにして、毎日の暮らしを豊かに楽しく、生き生きと過ごしたいと思う。

ありふれた日常を特別な日のように生きるためのコツが、女性ならではの視点で書かれていて、さらりと読める。そして自分も要らないものを捨てて、すっきりしたくなっていく。この本は、物を減らしたかった私には大変役に立つ思考を与えてくれた。

(主事 教務課)

## 本年度の授業日程について

### 学務委員会

昨年度は、新病院開院に伴い2週間授業を行えない期間があったため、例年に比べ後期授業が大幅に後ろにずれ込んだ日程になりました。本年度は、天皇即位関係の祝日により、4日間休日が増えますが、例年に近い日程で授業が組まれています。しかしながら近年、夏季・冬季休暇が短くなり、また一部の土曜日に授業が組まれた日程となっています。本稿では、なぜこのような授業日程になっているかについて説明します。

我が国では、大学設置基準により45時間相当の学修量をもって1単位と定めています。本学部では、「講義科目は予習・授業・復習がそれぞれ15時間」「演習・外国語・体育実技科目は授業が30時間、予習及び復習が15時間」「実験・実習科目は授業が45時間」とそれぞれ計45時間をもって1単位となるよう授業を構成しています。近年、文科省は「単位の実質化」や「学修時間の確保」のため、「1単位＝45時間の学修時間を確保」する運用を徹底するよう求めています。そのため、半期で15週確保する必要があります。本学部では、長期休暇を短縮し授業を組むこと、また月曜は祝日が多いことなどから土曜にも授業を実施することで授業時間数を確保しています。一部の大学では、祝日に授業を実施することや、半期を14週として1コマ100分授業することで対応しているようです。

講義科目や演習科目では、授業だけでなく、予習・復習も含めて1単位としていることからわかる通り、自己学修時間をしっかり確保することが学生には求められています。また本年度は、前期授業の再試験が後期授業期間内に実施されることから、再試験に該当してしまった科目は、計画性をもって自己学修するようにしてください。

学生諸君の貴重な大学生活が、有意義なものとなることを願っています。



## 球技大会に向けて

### 球技大会実行委員長 佐藤 壮将



球技大会委員長を務めさせていただき佐藤壮将と申します。よろしく申し上げます。今年度の開催で球技大会は第45回目の開催となります。東京オリンピックを翌年に控えスポーツへの関心が高まっているにも関わらず、本学部では球技大会への不参加者が目立つようになってきました。この問題を改善すべく、球技大会委員一同力を尽くして新競技を考案しました。ぜひ学年全員でご参加ください。今回の球技大会はただ動くだけでなく、関わった全ての人達が楽しめるように準備してまいりました。学生のみならず教職員の方々を含め、大会に参加されたみなさんが心から楽しんで、「参加して良かった」と思っただけのような実りのあるものを作り上げることができれば幸いです。  
(第5学年)



## 軽音楽部

### 主将 大塚 正弥

軽音楽部は、40人を超える大人数で活動しております。私たちのクラブは年齢、性別、経験の有無など関係なく全員が主役になれるクラブであると思います。また、皆が各々好きな音楽を演奏し、好きな音楽について語り合うという自由な雰囲気がこのクラブの良いところであると思います。年間を通して様々な場所でライブ活動を行っておりますので、機会があればぜひ遊びに来てください。最高の演奏が皆さんをお待ちしております。  
(第4学年)

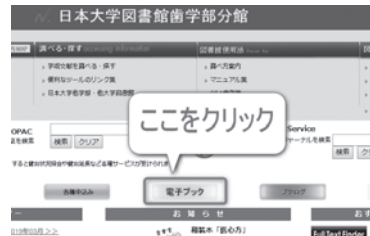


# 電子書籍のサービスを開始しました

図書館事務課

2019年3月から、電子書籍が利用できるようになりました。インターネットを介して話題の新刊や学術図書をいつでもどこからでも読むことができます。スマートフォンからも閲覧ができます。

【図書館トップページからご利用ください】



## ① LibrariE (ライブラリエ)

話題の新刊や小説、旅行ガイドなど約100冊取り揃えています。ウェブ上での貸出返却形式で、貸出冊数は3冊、2週間貸出ができます。貸出中の電子書籍を他の利用者が利用することはできませんが、予約をすることができます。

返却は、返却バナーをクリックする又は貸出期間を過ぎると自動的に返却されます。予約が入っていない場合は貸出延長が可能です。電子書籍を利用中でも、冊子体の図書は通常通り借りることができます。

歯学部生・大学院生・専門学校生はID・PWを設定済みです。教職員は図書館カウンターで利用申請が必要です。歯学部生・大学院生・専門学校生がログインに必要なID・PWは次の通りです。

ID : NuMailの@の前まで PW : 西暦の生年月日8ケタ

## ② KinoDen (キノデン)

医歯薬系の学術図書を約60冊取り揃えています。学部内ネットワークから利用ができます。アクセスできるのは1名だけのため、誰かが利用している時はその図書を利用することはできません。利用が終わったら速やかにログアウトしてください。

NuMailを持っている方は学部外からも利用ができます。学部外からのログインに使用するID・PWはNuMailと同じです。

【KinoDen 学部外からのログイン画面】



# 平成31年度 第1回 歯学部進学相談会

日時：6月23日(日) 10時00分～13時00分  
(受付は12時30分まで)

場所：日本大学歯学部本館1階(受付)

### 概要

- 個別相談  
本学教員と職員が各種相談を承ります。
- 全体説明  
本学での学びやキャンパスライフ、入試方法についてご説明いたします。
- 模擬授業  
本学教員による模擬授業を行います。
- 体験実習(事前予約が必要です) ※定員20名  
本学教員と学生が受験生に体験実習を行います。参加希望の方は日本大学歯学部ホームページからお申し込みください。体験実習への参加は受験生のみとなります。
- 校内見学(当日申込み) ※定員20名×2回  
平成30年10月に開院した新歯科病院棟を見学いただけます。  
※場所・概要は変更する場合があります。

# 第1回 専門学校進学相談会

日時：6月23日(日) 10時00分～13時00分

場所：日本大学歯学部1号館4階(専門学校講堂)

### 概要

- 個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。また、衛生専門学校では現役学生からの話を聞くことができます。
- 校内見学：随時
- 体験実習  
《技工専門学校》  
技工操作の一部として金属の研磨体験ができます。(随時)  
《衛生専門学校》  
11:00より専任教員による実習体験を行います。  
※両校とも体験実習への参加は受験生のみとなります。

# 平成31年度 第1回 歯学部公開講座

日時：平成31年6月1日(土) 13時30分より

場所：4号館3階

講演者：摂食機能療法講座 准教授 阿部 仁子

※詳細は、日本大学歯学部ホームページをご確認ください。

URL: <http://www.dent.nihon-u.ac.jp/>

## NewsPlus α

### ☆自衛消防訓練の実施

3月8日(金) 16時より、本館3階技工室からの火災を想定した消防訓練が行われた。

### ☆平成30年度第2回医療安全研修会・院内感染予防研修会・個人情報保護研修会の開催

3月5日(火) 17時10分より、第2回医療安全研修会・院内感染予防研修会・個人情報保護研修会が創設百周年記念講堂で開催された。

### ☆病棟消防訓練の実施

2月26日(火) 15時より、休日・時間外の体制時に、本館4階病棟区域での火災を想定した対応訓練及びAED訓練が行われた。歯科医師、看護師、衛生専門学校生など多数が参加した。

### ☆平成31年度ポスト・ドクトラル・フェロー、リサーチ・アシスタント、ティーチングアシスタントが決定

P D…久保亜抄子・崔 慶一・松生理恵子

R A…今井亜理紗・坐間 学

T A…佐田 英理・須田 駿一・相馬 久実・氷見 一馬  
生田目大介・梶原 美絵・宮 千尋・山縣加夏子  
杉村 留奈・高橋 奈央・中村 純基・村上 尚希  
横江 将・嘉悦 峻・小助川聖史・高野 了己  
廣瀬 健佑・星 まなみ

## 学 事

### 課程博士 (平成31年3月25日付)

Involvement of primary afferent p38-TRPV4 pathway in dry-tongue pain  
(一次ニューロンにおけるp38-TRPV4経路のdry-tongue painへの関与) CHEN JUI YEN

Relationship between the quantity of orexin receptor expression and calcium responses in cerebrocortical neurons: An *in vivo* two-photon calcium imaging study with rhodamine-labeled orexin A  
(大脳皮質神経細胞におけるオレキシン受容体発現量とカルシウム応答の関係: ローダミン標識オレキシンAを用いた2光子励起顕微鏡による*in vivo*カルシウムイメージング研究) 大谷 紗織

Changes in pharyngeal airway space before and after Le Fort I osteotomy and sagittal split ramus osteotomy  
(Le Fort I型骨切り術と下顎矢状分分割術の手術前後の気道形態変化) 青木 淳也

脳虚血モデルラットにおける全身諸臓器のhigh mobility group box protein 1 発現の変化 植木 皓介

数値流体力学を用いた上下顎前方移動術前後の気道評価

萩澤 翔平

上下顎前方移動術およびオトガイ舌筋・舌骨筋前方移動術が上気道形態と睡眠におよぼす影響 中村 亮太

顎顔面骨格形態が上気道形態におよぼす影響について—日本人の側面頭部X線規格写真を用いた検討— 柳川 圭一

Spatiotemporal profiles of somatosensory and insular cortical responses to mechanical stimulation of the periodontal ligament during experimental tooth movement (矯正力負荷下の歯根膜機械刺激に対する体性感覚野および島皮質における神経活動の時空間特性) 金子 茉莉

Continuous application of compressive force facilitates the formation of osteoclast-like RAW264.7 cells via upregulation of RANK and downregulation of LGR4 (持続的な圧迫力はRAW264.7細胞におけるRANKの発現増加とLGR4の発現減少を介して破骨細胞様細胞の形成を促進する) 松生理恵子

Propofol-induced potentiation of GABA<sub>A</sub> receptor-mediated tonic Cl<sup>-</sup> currents in the rat insular cortex (ラット島皮質でのプロポフォルによるGABA<sub>A</sub>受容体を介する持続性Cl<sup>-</sup>電流の増強) 金子 啓介

ユニバーサルアドヒージブの表層低重合層がエナメル質接着疲労耐久性および界面科学的性質に及ぼす影響 大内 元

温熱負荷ならびに長期水中浸漬がユニバーサルアドヒージブの象牙質接着耐久性に及ぼす影響 崔 慶一

電解酸性機能水の殺菌効果の検討 岡村貞之介

Singlet oxygen generated by a new nonthermal atmospheric pressure air plasma device exhibits bactericidal effect against oral pathogens (試作大気圧低温空気がプラズマ発生装置により生成された一重項酸素は口腔病原性細菌に対して殺菌効果を示す) 平野 頼是

Depression of quantal size of GABAergic synaptic transmission in the insular cortex by the reduction of peripheral unmyelinated C-fibers (末梢無髄神経線維の減少による島皮質 GABA 作動性抑制性シナプス伝達の素量サイズの減弱) 村山 翔太

lamin Aとその変異体progerinの発現が骨芽細胞分化に及ぼす影響 築根 直哉

三叉神経損傷に起因する孤束核-橋投射ニューロン機能変化の神経障害性疼痛発症への関与 岡田 真治

口腔扁平上皮癌細胞におけるウアバインのシグナル伝達について 齋藤 五月

ラット臨界骨欠損へのdedifferentiated fat cellsとI型コラーゲン組換えペプチドの移植効果 舘野 敦

CAD/CAM用コンポジットレジンプロックの歯ブラシ摩擦後における表面性状 岡村研太郎

CAD/CAMで製作されたコンポジットレジンおよびニケイ酸リチウム含有セラミック前装部とジルコニアフレームワークとのせん断接着強さ  
木村 文晃

支台歯形態の違いが高透光性ジルコニアラミネートベニアの辺縁および内面適合に及ぼす影響  
草場 公亮

4-META / 亜硫酸ナトリウム含有プライマーがリン酸エッチング後のヒトエナメル質とアクリル系装着材料の接着に及ぼす影響  
小平 晃久

前装材料とフレームワーク形態の違いがインプラント支持ジルコニア固定性補綴装置の破壊強度に及ぼす影響  
近藤 有秀

Temporal modulation of brain responses during ongoing hot stimulation in burning mouth syndrome  
(バーニングマウス症候群における持続熱刺激時脳活動の時間的修飾)  
小橋龍太郎

Alteration of somatosensory profile in patients with burning mouth syndrome  
(バーニングマウス症候群患者における体性感覚特性の変調)  
渡邊 広輔

舌部分切除患者の心理面の変遷に関する質的研究—M-GTA分析による—  
大西紗也子

Low-intensity pulsed ultrasound induces collagen matrix synthesis and aggrecan remodeling in chondrocytes  
(低出力超音波は軟骨細胞のコラーゲン合成とアグリカンのリモデリングを促進させる)  
昔農 淳平

Inhibitory effects of Cynaropicrin from *Cynara scolymus* L. on *Porphyromonas gingivalis* LPS-induced production of inflammatory cytokines and RANKL-induced osteoclast differentiation  
(*Porphyromonas gingivalis* LPS誘導性炎症性サイトカイン産生とRANKL誘導性破骨細胞分化に対する*Cynara scolymus* L.由来シナロピクリンの抑制効果)  
早田真由美

Influence of reclining position and the bolus consistency on swallowing dynamics: kinematic analysis using 320-row area detector computed tomography  
(リクライニング姿勢と食塊の稠度が嚥下動態に与える影響: 320-ADCTを用いた運動学的分析)  
續 英高

**平成31年度日本大学歯学部**  
上村安男・治子研究費研究者

(所属・資格は3月31日現在)

生理学講座	教 授	岩田 幸一
細菌学講座	准 教 授	神尾 宜昌
衛生学講座	教 授	川戸 貴行

**平成31年度日本大学学術研究助成金**

(所属・資格は3月31日現在)

(総合研究)		
生理学講座	教 授	岩田 幸一

**平成31年度日本大学歯学部**  
佐藤研究費(研究)給付者

(所属・資格は3月31日現在)

**(口腔科学系)**

解剖学第I講座	助 教	大橋 晶子
解剖学第II講座	准 教 授	山崎 洋介
生理学講座	准 教 授	篠田 雅路
生化学講座	准 教 授	田邊奈津子
病理学講座	教 授	浅野 正岳
細菌学講座	准 教 授	田村 宗明
薬理学講座	准 教 授	藤田 智史
歯科理工学講座	准 教 授	小泉 寛恭
衛生学講座	准 教 授	田中 秀樹
口腔診断学講座	准 教 授	野間 昇
歯科保存学第I講座	教 授	宮崎 真至
歯科保存学第II講座	助 教	羽鳥 啓介
歯科保存学第III講座	助 教	蓮池 聡
歯科補綴学第I講座	助 教	西尾 健介
歯科補綴学第II講座	助 教	秋田 大輔
歯科補綴学第III講座	准 教 授	小峰 太
歯科矯正学講座	教 授	本吉 満
小児歯科学講座	教 授	白川 哲夫
歯科放射線学講座	助 教	雨宮 俊彦
歯科麻酔学講座	助 教	里見ひとみ
口腔外科学講座	准 教 授	清水 治
臨床医学講座	教 授	米原 啓之

**(人間科学系)**

医療人間科学分野	専 任 講 師	上原 任
----------	---------	------

**(基礎科学系)**

基礎自然科学分野(生物学)	専 任 講 師	佐藤 恵
基礎自然科学分野(化学)	助 教	渡辺 孝康

**学生生活**

**クラブ春合宿一覧** (3月15日現在)

合気道部	3/13 ~ 3/15	東京都千代田区(歯学部)
アイスホッケー部	3/22 ~ 3/24	長野県岡谷市
空手道部	3/5 ~ 3/8	東京都千代田区(歯学部)
軽音楽部	3/6 ~ 3/10	長野県北佐久郡軽井沢町
奇術部	3/18 ~ 3/20	東京都千代田区(歯学部)
剣道部	3/14 ~ 3/20	山梨県南都留郡山中湖村
硬式庭球部	3/8 ~ 3/13	千葉県長生郡白子町
硬式野球部	3/20 ~ 3/24	千葉県銚子市
ゴルフ部	3/4 ~ 3/8	茨城県常陸大宮市
サッカー部	3/8 ~ 3/13	茨城県神栖市
水泳部	3/21 ~ 3/24	千葉県佐倉市
自動車部	3/6 ~ 3/7	千葉県市原市
柔道部	3/14 ~ 3/20	東京都千代田区(歯学部)
スキー部	3/13 ~ 3/16	群馬県吾妻郡嬬恋村
生物部	2/24 ~ 2/26	新潟県南魚沼郡湯沢町
ソフトテニス部	3/7 ~ 3/11	千葉県長生郡白子町
東洋医学研究部	3/20 ~ 3/21	埼玉県飯能市
日本拳法部	3/14 ~ 3/19	山梨県南都留郡忍野村
バスケットボール部	3/17 ~ 3/20	静岡県賀茂郡伊豆町稲取
	3/21 ~ 3/24	千葉県松戸市(松戸歯学部)
バレーボール部	3/25 ~ 3/27	千葉県松戸市(松戸歯学部)
洋弓部	3/16 ~ 3/20	千葉県長生郡長柄町
陸上競技部	3/17 ~ 3/21	栃木県佐野市
ワンダーフォーゲル部	3/4 ~ 3/7	北海道虻田郡倶楽部知安町